

令和6年火災・救急概況

南消防署
1月1日～2月29日

1 南区火災・救急状況

区分 \ 年別	令和6年	令和5年	増△減	
火災件数	7	11	△4	
火災種別	建物	4	7	△3
	林野	0	0	0
	車両	1	0	1
	船舶	0	0	0
	航空機	0	0	0
	その他	2	4	△2
焼損床面積 (㎡)	145	4	141	
死者(人)	2	0	2	
負傷者(人)	1	1	0	
主な火災原因	放火(疑い含む)	2	4	△2
	電灯・電話等の配線	1	0	1
	こんろ	1	1	0
	電気機器	1	0	1
	ストーブ	1	0	1
救急出場件数	2,461	2,583	△122	
救急種別	急病	1,801	1,915	△114
	一般負傷	444	446	△2
	交通事故	60	61	△1
	その他	156	161	△5

2 横浜市火災・救急状況

区分 \ 年別	令和6年	令和5年	増△減	
火災件数(件)	109	136	△27	
焼損床面積(㎡)	1,402	1,482	△80	
死者数(人)	9(0)	3(0)	6	
負傷者数(人)	22	26	△4	
救急出場件数(件)	43,088	39,627	3,461	
救急種別	急病	30,932	28,272	2,660
	一般負傷	7,749	7,249	500
	交通事故	1,354	1,290	64
	その他	3,053	2,816	237

* 死者数欄()内の数値は、放火自殺者の内数

3 行政区別火災・救急状況

区分	年別	火災			救急		
		令和6年	令和5年	増△減	令和6年	令和5年	増△減
行政区別件数	鶴見	7	11	△4	3,059	2,981	78
	神奈川	5	8	△3	2,782	2,445	337
	西	5	5	0	1,680	1,578	102
	中	12	15	△3	2,977	2,838	139
	南	7	11	△4	2,461	2,583	△122
	港南	4	3	1	2,646	2,406	240
	保土ヶ谷	7	4	3	2,381	2,158	223
	旭	5	12	△7	2,978	2,670	308
	磯子	4	3	1	2,014	1,771	243
	金沢	12	5	7	2,390	2,110	280
	港北	13	18	△5	3,408	3,118	290
	緑	4	5	△1	1,964	1,748	216
	青葉	4	5	△1	2,618	2,309	309
	都筑	1	8	△7	1,860	1,731	129
	戸塚	7	11	△4	3,185	2,926	259
	栄	4	2	2	1,436	1,261	175
	泉	6	3	3	1,705	1,625	80
瀬谷	2	7	△5	1,537	1,359	178	

※本年数値は速報のため、変更することがあります。また、表は前年同時期との比較です。

4 連合町内会・受持消防団別火災件数

連合町内会名	火災件数	受持消防団
太田東部連合町内会	1	第一分団
太田地区町内連合会	0	
寿東部連合町内会	1	第二分団
中村地区連合町内会	1	
蒔田連合町内会	1	第三分団
お三の宮地区連合町内会	0	
堀ノ内睦町連合町内会	0	
井土ヶ谷地区連合町内会	0	第四分団
北永田地区連合町内会	0	
永田みなみ台連合自治会	0	第五分団
本大岡地区町内会連合会	2	
大岡地区連合町内会	0	第六分団
別所地区連合町内会	1	
南永田・山王台連合町内会	0	
六ツ川地区連合自治会	0	第一～六分団
六ツ川大池地区連合自治会	0	
連合未加入自治会、その他	0	
合計	7	

裏面あり

住宅用火災警報器を設置していますか？

発行者：南消防署

令和5年は横浜市内、南区ともに火災の件数が前年に比べ増加しました。毎年、横浜市では火災により多くの方が亡くなっており、その約7割が「逃げ遅れ」によるものです。さらに南区では今年に入り、住宅火災による死者が2人発生しています。そこで住宅火災を早期発見し、火災による被害を減らすため、住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検を行いましょう。

また住宅用火災警報器の寿命は10年です。いざというときにしっかり機能するように、10年を目安に交換しましょう。

点検方法

「ボタンを押す」または「ひもを引く」



ピーピーピー
火事です



ピッ
電池切れです



警報音や正常を知らせる
音声が鳴れば正常です



音が鳴らない、故障のアナウンスが
する場合は新しいものに交換しま
しょう

今年度南区では、「永田みなみ台連合自治会」と「北永田地区連合町内会」2つの地域が無火災を達成されました。引き続き出火防止にご協力をお願いいたします。